

もっとボートレースを

PROPEL



特集

ボートレーサー という職業 PROFESSIONALISM

人生の全てを賭けた挑戦、
そしてつかんだ天職・ボートレーサー

江崎一雄

直感で飛び込んだ勝負の世界、
周囲の支えを力に変えてトップを目指す

平山智加

数字が語るボートレーサーの仕事



集中力を高め、その瞬間を待つ



ボートレーサーという職業

PROFESSIONALISM

写真：妹尾一郎

ボートレース——性別、年齢に関係なく、結果だけが評価される真の実力世界。水面で競い合うボートレーサーは、日々経験を積み、技術を磨く一方で、体重をはじめとするストイックな自己管理が求められます。しかし、努力を重ね実績をあげれば、自分の思い描いた“夢”を実現することができるのです。“ボートレーサー”という職業、その厳しさと魅力に迫ります。



緊張から解き放たれ、素顔に戻る



一つひとつの積み重ねが勝利につながる



先輩から後輩へ、受け継がれる技術とプロ意識





「専門職に就きたいとずっと思っていました。それもボートレーサーに引かれた理由の一つです」

新人レーサーながらその非凡な活躍ぶりが、大きな話題となっている江崎一雄選手。交通事故という不運を乗り越え、強い信念と熱意によってプロレーサーへの道を切り開きました。「ボートレーサーは天職」という江崎選手に、その魅力を話してもらいました。

人生のすべてを賭けた挑戦、そしてつかんだ天職・ボートレーサー

江崎一雄

応募資格の年齢枠拡大によりあきらめた道に再チャレンジ

「ボートレーサー応募資格の年齢枠が拡大されます」。あの場内アナウンスを耳にした瞬間は、体中に電流が走りました」と、当時を振り返る江崎選手。その1年前、ボートレーサーを目指してやまと学校の受験を控えていた江崎選手は、直前に交通事故に遭遇。自身の年齢が募集の上限(当時は21歳未満)だったため、夢をあきらめざるを得ませんでした。気をとりなおして建築系の専門学校に通い始めた頃、ボートレース場で募集年齢の拡大を伝える放送を聞いたのです。

「やるしかない!」。決意して受験に臨んだ江崎選手ですが、2度の受験では不合格に。「3度目の受験は、人生のすべてを賭ける気持ちで受けました」との思いが結実して、見事に合格を勝ち取ったのです。やまと学校での訓練生活は「1日も無駄にできなかった」というほど必死に過ごしたという江崎選手。努力の甲斐あって目覚ましい成績で卒業し、2011年5月、念願のボートレーサーとしてデビューを果たしました。

結果を出すのも妥協するのもすべてが自己責任のプロの世界

江崎選手は、職業としてのボートレーサーの魅力「整備やレースなど、あらゆる瞬間で判断が求められ、それが結果につながる点」だと感じています。「一般の会社では自分の努力を評価するのは他人ですが、この世界はあらゆるものが自己責任。現状に満足するのをも上を目指すのもすべて自分次第なのです」。そんな中、江崎選手が驚いたのが先輩方の存在です。「競争社会にもかかわらず、アドバイスなど後輩のために時間を割いてくださるのです。素晴らしい世界だと感動しました」。

ボートレーサーになって日が浅い江崎選手は、「自分のやりたいことは山のようにありますが、新人としての仕事も多く、常に時間が足りないですね」と苦心の様子。しかし、「好きなレースに出られて、その上お金がもらえる。ボートレーサーの魅力は数え切れないくらいあります」と生き生きとした表情で話してくれました。

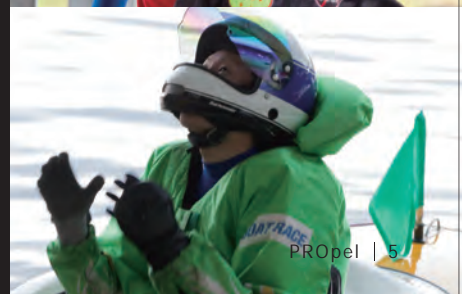
「1周1マークで勝負がつくことが多いと思われるボートレースですが、最後の最後まであきらめない走り、お客さまが目を離せないレースをしたいと思っています」



江崎一雄選手

Kazuo Ezaki

登録番号4657。福岡支部所属。108期。やまと学校での訓練生時代、リーグ10戦で7回の優勝という好成績を収め話題となる。2011年5月、ボートレース若松でのプロデビュー戦でいきなり優勝戦進出という快挙を果たし、周囲の期待に応える活躍を見せている。



直感で飛び込んだ勝負の世界、 周囲の支えを力に変えて トップを目指す

プロデビュー以来、目覚しい活躍を続けている平山智加選手。スター選手への階段を着実に駆け上がる一方で、勝負の世界の厳しさも常に感じているといいます。ボートレーサーという職業の厳しさと魅力について語ってもらいました。



平山智加



“心をこめて”は高校時代のバスケット部の顧問から贈られた言葉。「心をこめた、その人のすべてが夢をかなえてくれる」と記された色紙を大切にしている

プレッシャーは大きいけれど 納得できる結果を求めたい

意外なことに、プロを志すまでボートレースを知らなかったという平山選手。「就職先を考えている時、パンフレットを見て、直感でボートレーサーになりたいと思いました。今にして思えば、スピードへの恐怖心もなく、部活で競い合うことに慣れていたこともあり、自分に合った職業だなと感じています」と打ち明けます。「常に勝負と向き合わなければならない厳しい世界」と、ボートレーサーという職業について話す平山選手。「着順や勝率といった成績のほか、賞金の獲得額などあらゆる情報が数値となって開示されるため、プレッシャーもあります。やりがいを感じるころでもあり、モチベーションにつながります」。重圧の下で臨むレースですが、平山選手にとってその一番の魅力は、男女が同じ舞台上で競走すること。「たとえばプロゴルフでも男女のツアーは別々です。男性と女性が同じ水面で勝負するボートレースは、素晴らしい競技だと思います」。だからこそ、「性別を意識せず、自分の納得できる走りによって結果を出していきたい」と平山選手は意気込みを語ります。

支えてくれる方々がいるから レーサーとして成長できる

ボートレーサーという職業に就いて6年。華やかな活躍の裏で、平山選手は「メンタルをはじめ、まだまだ課題が多い」との思いが強くあるそうです。常に結果を求められる日々にあって、彼女の支えになっているのが同じくボートレーサーの夫・福田雅一選手の存在。「彼は先輩のボートレーサーで、自分では気づかないポイントも的確に助言してくれますし、本当に心強いです」。そして、ファンの存在も。「レースを見て元気になったというお客さまの声を聞くと本当に嬉しいです。自分が走る姿を見てくださる方々がいるからこそ、頑張れると感じます」。「レースだけでなく、何事においても心をこめていきたい」という平山選手は一歩一歩を大切にしながら、さらなる高みを目指します。



「ボートレーサーになったことで“人生が開けた”と感じています。ボートレースを知らない若い人たちにも、こういう世界もあることを知ってもらい、一歩を踏み出してほしい。それによって新しい世界が開けてくるはずですよ」

平山智加 選手

Chika Hirayama

登録番号4387。香川支部所属。98期。「平成21年最優秀新人選手」を受賞。2011年5月の笹川賞において待望のSG初1着。高校時代はバスケットボール選手として全国大会で活躍した経歴を持つ。



数字が語る ボートレーサーにまつわる数字からも その仕事が見えてきます。 ボートレーサーの仕事

級別

全国で約1,500人のボートレーサーがしのぎを削る

ボートレーサーは全国で約1,500人。成績によって上から順にA1級、A2級、B1級、B2級の4つのクラスに分けられています。クラス分けは半年ごとに行われ、現状の実力が反映されるようになっています。SGなど賞金額も権威も高いレースには、原則としてA1級でないとは出場できません。ボートレーサーは上位クラスを目指し、日々のしのぎを削っています。

| | |
|-----|---|
| A1級 | 勝率*上位の20%(約300人)、ボートレース界の最高ランクのレーサーが集う。 |
| A2級 | A1級を除く勝率上位20%(約300人)、出場レースも増えて収入も増加。 |
| B1級 | A1級、A2級を除く勝率上位50%(約750人)の選手がここに含まれる。 |
| B2級 | A1級、A2級、B1級以外のレーサー(約150人)。 |

※ 勝率：着順点等の合計を出場レース数で割った値

年収

平均年収約1,700万円 2億円を超える選手も

ボートレーサーの収入はレースに出場して獲得する賞金で決まります。平均年収は約1,700万円。最高ランクのA1級では約3,600万円、最低ランクのB2級でも平均年収は約500万円となっています。トップレーサーになると1億円以上を獲得し、中には2億円を超える選手も。過去の年間最高獲得賞金は植木通彦・元選手の2億8,393万円(2002年)です。

| ■クラス別平均年収 | 他のプロスポーツでは… |
|--------------|-----------------|
| A1級 約3,600万円 | プロ野球 約3,600万円 |
| A2級 約2,000万円 | オートレース 約1,400万円 |
| B1級 約1,100万円 | 競馬 約1,000万円 |
| B2級 約500万円 | |

| 一般の会社員(男性)では… | | |
|----------------|---------|--------|
| 従業員5,000人以上の企業 | 平均40.9歳 | 約668万円 |

(出典：国税庁「平成21年分民間給与実態統計調査」)



年齢

10代から60代までの選手が活躍 平均在籍年数34年

2011年7月現在、最も若い選手は18歳の近江翔吾選手、最高年齢は69歳の加藤峻二選手。ボートレーサーの選手生命は長く、現役選手の平均年齢は35.7歳、平均引退年齢は54.6歳で平均在籍年数は34年、50歳以上の選手が140人以上います。また、デビュー後すぐにレースに出場できるので、若くして活躍する選手も数多くいます。

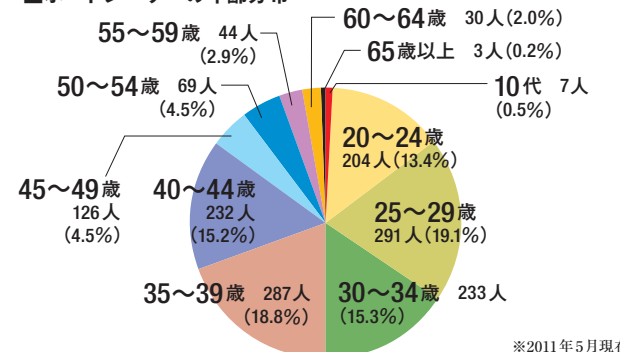
他のプロスポーツでは…

| | プロ野球 | サッカー(Jリーグ) |
|--------|------|------------|
| 最高年齢* | 45歳 | 44歳 |
| 平均年齢 | 27歳 | 23歳 |
| 平均引退年齢 | 29歳 | 26歳 |



※2011年7月現在 加藤峻二選手

■ボートレーサーの年齢分布



※2011年5月現在

女子選手の活躍

約1割が女子選手。 女子だけのリーグ戦もある!

全選手のほぼ1割にあたる約160人が女子選手。女子選手だけでリーグ戦ができるなど、公営競技の中でもその数はダントツです。ファンの間で評判の美人レーサーも多く、ボートレースのCMに出演している魚谷香織選手はNo.1アイドルとして人気沸騰。実力も急上昇で、2010年には3つのSGに出場するとともに、女子王座決定戦では2年連続で優勝戦に進出しています。



魚谷香織選手

他のプロスポーツでは…

| | |
|--------|--------------------------|
| オートレース | 2人(44年ぶりに2人がデビュー) |
| 競輪 | 0人(48年ぶりに36人の女性が競輪学校に入学) |
| プロゴルフ | 894人(全選手6,008人のうち、14.9%) |

※競輪は2011年5月現在、プロゴルフは2010年3月現在

生涯獲得賞金

最高額は松井繁選手の29億円! 記録を更新中

松井選手は2009年に約2億5,000万円、2010年に約1億円を獲得。現役選手ですので、さらに記録を伸ばしています。



松井繁選手

■生涯獲得賞金ベスト3(2011年7月7日現在)

| | |
|--------|-----------------------|
| ★ 松井 繁 | 29億2,758万円 |
| 2 今村 豊 | 25億5,768万円 |
| 3 植木通彦 | 22億6,186万円(2007年7月引退) |

■高額優勝賞金レース・ベスト3【SG】

| | |
|-----------------------------------|---------|
| ★ 賞金王決定戦 | 1億円 |
| 2 総理大臣杯/全日本選手権/笹川賞/モーターボート記念 | 3,500万円 |
| 3 グランドチャンピオン決定戦/オーシャンカップ/チャレンジカップ | 2,500万円 |



昨年12月に行われた「第25回賞金王決定戦競走」で優勝した中島孝平選手(右)とプレゼンターの「アッキーニャ」こと南明奈さん(左)

「第25回賞金王決定戦競走」優勝戦の様子

一般の会社員(大学・大学院卒業/男性)の生涯収入は…

| | |
|----------------|------------|
| 従業員1,000人以上の企業 | 約3億3,000万円 |
|----------------|------------|

(出典：独立行政法人 労働政策研究・研修機構「ユースフル労働統計 - 労働統計加工指標集-2011」)

レース数

年間のレース数は約50,000回 365日、毎日どこかで開催されています

全国24カ所のボートレース場で開催されるレースの年間合計回数は約50,000回。毎日、どこかのレース場で開催されています。ボートレーサーたちは全国のボートレース場を飛び回り、迫力あるレースでファンを楽しませています。

他のプロスポーツでは…

| | プロ野球 | サッカー(J1リーグ戦) |
|-----------|-----------|--------------|
| レギュラーシーズン | 3月~10月 | 3月~12月 |
| 試合数 | 各チーム144試合 | 各チーム34試合 |

ボートレーサーになるには？

ボートレーサーになるには、唯一の養成訓練機関——やまと学校（福岡県柳川市）への入学が必須です。
 そこで1年間にわたる厳しい訓練を受け、卒業試験、国家試験にパスしなければ、
 プロレーサーとしてデビューすることはできません。入学試験は約40倍にも及ぶ難関ですが、
 学歴・職歴は関係なく、高い志を持つ者には誰にでもチャンスがあるのです！

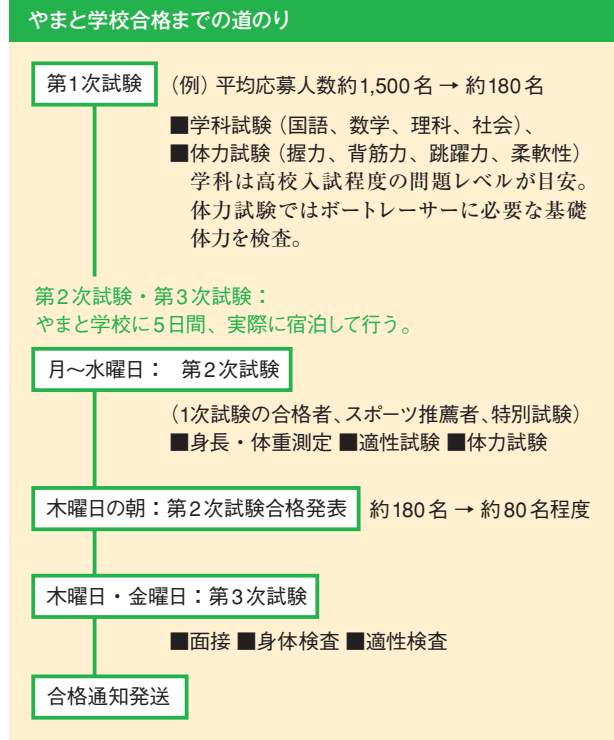
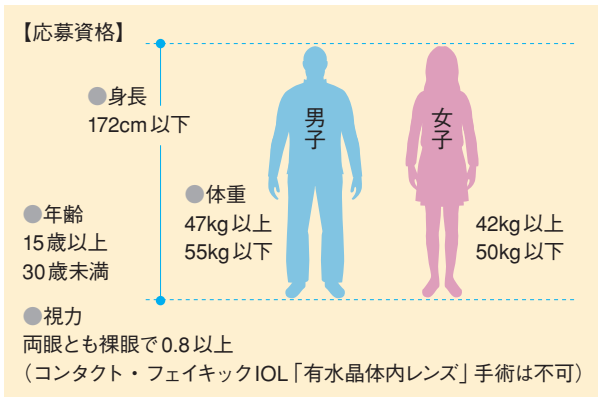


門戸を広く開け、多彩な人たちを受け入れる

やまと学校への入学のチャンスは1年に2回(4月と10月)。毎回40名程度のボートレーサーが募集されています。受験資格には身長や体重、視力、年齢などの制約がありますが、性別・国籍は問いません。

以前は年齢制限が14歳以上21歳未満でしたが、106期(2009年4月入学)からは、上限が30歳未満に引き上げられたことにより、中学や高校を卒業したばかりのフレッシュマンだけでなく、就職経験など様々な経歴を持つ若い男女が入学してきました。たとえば、オートバイのレーサー、空手の世界チャンピオン、自衛隊員、OL、中には学校の先生や保育士等々。また、一度はボートレーサーの道をあきらめたものの、再チャレンジして見事合格したという例もあります。本誌特集で紹介した(4～5ページ)江崎一雄選手(福岡)もその一人です。

また、スポーツ活動(対象競技は不問)で優秀な成績を収めた人には「スポーツ推薦枠」※1、さらに国際大会等で好成績を残した人には「特別試験枠」※2を用意するなど、やまと学校は門戸を広く開け、多彩な人材を受け入れています。 ※1 1次試験は人物試験「面接」 ※2 体力試験免除



わずか1年の訓練期間でプロデビュー

野球やサッカーでプロになるには、子どもの頃からの長年の練習やステップアップが必要です。一方、ボートレーサーはわずか1年という短い期間で、全くの未経験者がプロレーサーとしてデビューすることが可能です。しかし、それにはやまと学校での厳しい訓練を受けることが必要です。やまと学校は全寮制で、レースのための技術や知識はもちろん、社会人として、プロフェッショナルとして持つべき「礼と節」(礼儀と節度)が身につくような教育をしています。訓練生は6回の試験(班別試験4回、進級試験、卒業試験)をクリアするほか、同期の訓練生同士で行うリーグ戦で一定の成績を残すことが求められます。

そして、国家試験(資格検定試験)に合格した上で、やまと学校を無事卒業すれば、晴れてプロレーサーとしてのデビューの日を迎えることができるのです。卒業できる訓練生は入学時の60%前後という数字からも訓練の厳しさが伝わってきます。



Q&A

体重制限がある理由は？

ボートとモーターの重量は合計約120kgで、各ボートの重量差はほとんどありません。モーターの馬力、性能も同じなので操縦する選手の体重は軽いほうが当然有利です。プロレーサーになってからは常に適正な体重の維持が必要なため、選手になる前から体重制限を設けています。

眼鏡装着不可の理由は？

ボートレースは水上を激しく疾走するため、水しぶきを浴びて眼鏡が曇ったり、眼鏡がずれたりすると大事故につながる可能性があります。また、転覆などにより水中に入ることもあり、急に目に水圧がかかると危険なため、コンタクトレンズやフェイクICKIOL「有水晶体内レンズ」の使用も認められていません。このため、裸眼の視力を向上できるレーシック手術を受けてくる受験生もいます。

やまと学校の合格の基準は？ また、どのような受験準備をしたらいいのでしょうか？

高等学校入学試験程度の基礎学力とボートの操縦に必要な体力やバランス感覚、動体視力、持久力などが求められます。合格するためには、数カ月単位の計画で体重管理をはじめとした準備をしっかり行い、学力、体力を身につけておくことが大切です。そして何より「ボートレーサーになりたい」という強い意志が必要です。

2012年4月入学 112期やまと学校 募集要項

- 募集人数 / 40名程度
- 募集期間 / 一般試験: 8月1日(月)～9月12日(月) 特別試験: 8月1日(月)～8月31日(水)
- 試験日・会場等(一般試験)
 - 第1次試験 / 11月13日(日) 会場: 関東・東海・近畿・四国・中国・九州の主要都市 合格発表: 11月下旬を目処に受験者あてに通知します。
 - 第2次試験 / 12月5日(月)～7日(水) 会場: やまと学校 合格発表: 12月8日(木)
 - 第3次試験 / 12月8日(木)～9日(金) 会場: やまと学校 他 合格発表: 12月下旬を目処に受験者あてに通知します。
- お問い合わせ先
 その他、詳しい情報は、やまと学校 web サイト <http://www.boatrace.jp/yamato/> をご覧いただくか、(財)日本モーターボート競走会 やまと学校 養成課 tel.0944-76-5051 までお問い合わせください。





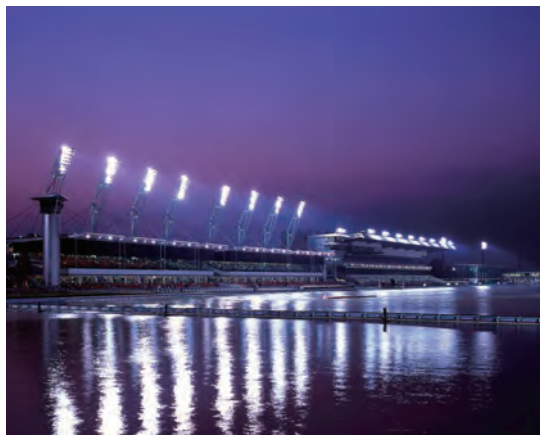
●日本財団に関する情報はこちらから

⇒ <http://www.nippon-foundation.or.jp/>

●日本財団会長 笹川陽平ブログ

民の立場から公への貢献をモットーに内外の現場で公益活動を実践。年の三分の一を海外活動に充て、海外情勢や時事問題など多角的視点から情報を発信しています。

⇒ <http://blog.canpan.info/sasakawa/>



BOAT RACE 桐生

2011年度より1年間の開催のすべてをナイターレースで行う「オールナイター」を実施しているボートレース桐生。日没後には大型映像装置やナイター照明の光が水面に映り込み、幻想的な雰囲気の中でレースが楽しめます。有料席の「わいわいシート」と「アクアシート」は畳敷きで、1グループ6人までがくつろげます。また、見晴らしの良い2階のレストラン「ダイニング雷神」やメニューが豊富な1階のフードコートで美味しい食事を楽しめます。

ADDRESS ● 〒379-2311 群馬県みどり市笠懸町阿左美2887

ACCESS ● 電車：JR岩宿駅 ⇄ ボートレース桐生 無料巡回バス運行。東武線新桐生駅より往路無料タクシー運行。※いずれも運行時間帯あり。JR岩宿駅より徒歩15分。車：東北自動車道経由、北関東自動車道 太田桐生ICより約15分。関越自動車道経由、北関東自動車道 太田藪塚ICより約15分。

ボートレース桐生のマスコット「ドラキリュウ」

ボートレース業界初のナイターレースが、ボートレース桐生で開催されたのを機に、1998年、誕生しました。2011年度からのオールナイター実施に伴い、成長・進化した「ドラキリュウ」となりました。



ドラキリュウ



◆「ISO/IEC27001:2005」を認証取得

BOAT RACE 振興会は、2010年7月25日付で、全部門を対象とした情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) の国際認証基準「ISO/IEC27001:2005」を認証取得いたしました。



〒108-0073 東京都港区三田3-12-12 笹川記念会館 TEL.03-5232-2511 FAX.03-5232-2519

BOAT RACE 振興会HP ⇒ <http://www.boatrace-pr.jp/>

BOAT RACE オフィシャルweb ⇒ <http://www.boatrace.jp/>